

数学科「数学C」	単位数	2
	学科・学年・学級	普通科3年1組・3年2組選択者

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	行列とその応用、式と曲線、確率分布または統計処理について理解させ、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすと共に、それらを積極的に活用する態度を育てる。				
使用教科書・副教材等	新数学C(知研出版) 反復数学C(数研出版)				
学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	考查
第1学期	4	1章 行列	行列の概念とその基本的な性質について理解し、数学的に考察し処理する能力を伸ばします。	数のグループ毎で計算します。	中間 考 査
		1節 行列の演算			
		1 行列			
		2 行列の和と差			
		5 3 行列の実数倍			
		4 行列の積			
	6	5 行列の積の性質(1)			
		6 行列の積の性質(2)			
		7 逆行列(1)	行列の概念とその基本的な性質を用いて、数学的に考察し処理する能力を伸ばすと共に、連立1次方程式を解くことや点の移動の考察などに活用できるようにします。	連立方程式を解くために考えられた計算です。	期 末 考 査
		8 逆行列(2)			
		9 連立1次方程式			
		2節 点の移動			
		10 対象移動			
11 行列による点の移動(1)					
12 行列による点の移動(2)					
7	13 行列による点の移動(3)				
第2学期	9	2章 式と直線	2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを理解します。	円錐曲線と呼ばれる基本図形を学習します。	中 間 考 査
		1 放物線			
		2 楕円(1)			
		10 3 楕円(2)			
		4 双曲線(1)			
	11	5 双曲線(2)			
		6 二次曲線の平行移動	2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを用いて、具体的な事象の考察に活用できるようにします。	デカルト座標以外にも図形をあらわす方法があります。	期 末 考 査
		7 二次曲線と直線			
		8 曲線の媒介変数表示(1)			
		9 曲線の媒介変数表示(2)			
		10 極座標			
12 11 極方程式					
第3学期	1	3章 確率と確率分布	確率の計算についての理解を深めます。	できるだけ多くの問題を解きます。	期 末 考 査
		1節 確率			
		1 確率			
		2 条件つき確率			
		3 確率の計算			

(2) 評価の観点および評価資料

評価の観点	評価の内容	評価資料
関心・意欲・態度(20%)	授業内容に関心を持てたか。 与えられた課題に意欲的に取り組んだか。 模倣から試行錯誤へと発展的に思考できたか。	授業への準備状況や参加状況 授業で使用するプリント 授業ノート
数学的な見方や考え方(25%)	文字式の扱いに習熟できたか。新しい量の概念に習熟できたか。 定義から論理的に積み上げて考えることができたか。	小テスト 授業ノート
表現・処理(25%)	文章を正しく読み、数学的に定式化できたか。	小テスト・演習ノート・定期試験
知識・理解(30%)	用語・記号など学習したことを理解し、正しく適用できたか。	小テスト・演習ノート・定期試験

(3) 評価方法

学期の評価方法	定期試験で60%、小テストとノート提出とレポートなどで20%、学習活動への参加の仕方や態度で20%、という配分で評価します。
年間の評価方法	全学期の平均で年間の学習成績とします。

3. 担当者からの助言

行列では連立方程式を早く正確に解けるようになることを目指します。
